

企画情報室

企画情報室では、研究部門の円滑な運営を推進するとともに、横断的な共同研究課題へ対応するための調査研究及びデータバンクとしての情報機能の充実等、次の事業を実施しました。

1. 研究・指導業務の総合的企画調整

- (1) 研究・指導業務の年間計画の作成及び進行管理、研究業務等の効果的な推進を図るため産・学・官の連携による「工業技術センター研究開発推進会議」を開催し、業界ニーズの調査・分析等、研究部門の総合的企画調整を行いました。
- (2) 先端技術等の積極的な取り組みや研究開発能力の強化を図るため、高度な知識・技能を有する研究者を招へい、または先進研究機関へ研究員を派遣する「研究交流推進事業」の進行管理を行い、研究機能の人的充実を図りました。また知識技術を補完する共同研究の推進に努めました。
- (3) 技術・市場交流プラザの開催及び異業種交流協会・先端技術研究会への運営協力を行いました。
- (4) 研修会・講習会の開催、技術相談・指導の実施、研修生・卒論生の受入れや視察・見学者の案内等、対外的窓口業務を行うとともに、研究報告、年報、鹿工技ニュース（年4回）を発行して技術情報の提供、工業技術センターの広報活動の推進に努めました。

2. 技術情報データベースの構築と有効利用に関する研究

地域企業における情報ニーズの増大や、専門化する多量の技術情報を整理し、容易な検索を可能にするために、センター内外からのパソコンによるリモート検索の研究及び利便性を考慮したデータ登録・検索・画像処理等の研究を行い、平成元年8月から研究報告サービスシステム（略称：メビウス）を供用開始しました。

3. 産業廃棄物の有効利用に関する調査研究

産業分野の生産過程において発生する産業廃棄物の種類と量を把握し、その中から再利用可能な物質を検索し、資源としての利用化を図ることを目的としています。

本事業は、当センターの横断的な調査研究テーマであるため、各部室の代表者で構成する「産業廃棄物調査検討委員会」において、調査方法、調査内容を検討し県内中小企業についてアンケート調査を行い、その調査結果の分析を行いました。